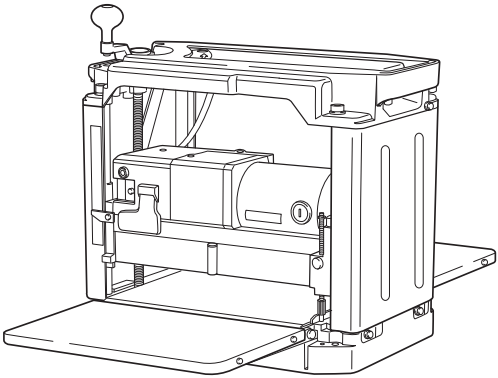
ヒューマンハードウェアのマキタ
人の暮らしとすまいのために……

makita

取扱説明書

304mm自動カンナ

回 モデル 2012NB



二重絶縁

このマークを表示した製品は二重絶縁構造ですのでアース（接地）する必要はありません。
マキタ製品は電気用品安全法に基づく技術上の基準に適合、または準じて（電気用品安全法適用外の製品）製造されております。

このたびは**304mm自動カンナ**をお買い上げ賜わり厚くお礼申し上げます。
ご使用に先立ち、この取扱説明書をよくお読みいただき本製品の性能を十分ご理解の上で、適切な取り扱いと保守をしていただいて、いつまでも安全に能率よくお使いくださるようお願いいたします。
なお、この取扱説明書はお手元に大切に保管してください。

目次

- 主要機能 - - - 3
- 安全上のご注意 - - - 4
- 自動カンナ安全上のご注意 - - - 10
- 各部の名称および標準付属品 - - - 11
- 別販売品のご紹介 - - - 12
- 作業前の準備 - - - 13
  - 運搬・移動 - - - 13
  - 機械の設置 - - - 13
- 使い方 - - - 14
  - スイッチの操作 - - - 14
  - 自動カンナ盤の使い方 - - - 14
  - 寸法表示 - - - 14
  - 切り込み深さの調整 - - - 15
  - 切り込み深さゲージの使い方 - - - 16
  - 定寸ストッパの使い方 - - - 17
  - 切削作業 - - - 18
  - カンナ刃の取り付け・取りはずし - - - 20
  - カンナ刃の取りはずし方 - - - 20
  - カンナ刃の取り付け方と調整 - - - 23
  - カンナ刃の仕様変更について - - - 26
- 別販売品の使い方 - - - 27
  - スタンド - - - 27
  - フードセット品 - - - 28
- 保守・点検について - - - 29
  - サブテーブルの高さ調整 - - - 29
  - カンナ刃はいつも良い切れ味に - - - 29
  - カーボンブラシの交換 - - - 30
  - 注油について - - - 31
  - その他 - - - 31
  - ご修理の際は - - - 31

主要機能

モデル 主要機能	2012NB
電動機	直巻整流子電動機
電圧	単相 100 V
電流	15 A
周波数	50-60 Hz
消費電力	1,430 W
回転数	8,500 min^{-1}（回転 / 分）
機体寸法 （幅×長さ×高さ）	483 mm × 771 mm × 401 mm （サブテーブル折たたみ時　長さ 307 mm）
質量	27 kg
最大切削幅	304 mm
切削材厚さ	3 ～ 155 mm
最大切り込み深さ	切削幅　150 mm 以下　‥‥‥‥　3.0 mm 切削幅　150 ～ 240 mm　‥‥‥　1.5 mm 切削幅　240 ～ 304 mm　‥‥‥　1.0 mm
送材速度	0.14 m/s
定盤寸法（幅×長さ）	304 mm × 771 mm

・ 改良のため、主要機能および形状などは変更する場合がありますので、ご了承ください。

安全上のご注意

JPA001-37

- ご使用前に、「取扱説明書」と「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、正しく使用してください。
- 感電、火災、重傷などの事故を未然に防ぐために、この「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- 「電動工具」は、電源式（コード付き）電動工具を示します。

注意文の ⚠警告 ・ ⚠注意 ・ 注 の意味について

ご使用上の注意事項は ⚠警告 と ⚠注意 ・ 注 に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

⚠警告：誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

⚠注意：誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。
なお ⚠注意 に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

注：製品および付属品の取り扱いなどに関する重要なご注意。

⚠警告

作業環境

1. 作業場は、整理整頓してください。また、十分に明るくし、いつもきれいに保ってください。
・ ちらかった暗い場所や作業台は、事故の原因となります。
2. 可燃性の液体・ガス・粉じんのある所で使用しないでください。
・ 電動工具から発生する火花が発火や爆発の原因になります。
3. 使用中は子供や第三者を作業場に近づけないでください。
・ 注意力が散漫になり、操作に集中できなくなる可能性があります。
・ 作業者以外、電動工具や電源コードに触れさせないでください。
4. 十分な、防じん対策や飛散防止対策をしてください。
・ 特に、人体に有害な成分を含む材料を加工するときは、注意してください。
5. アスベスト（石綿）周辺の環境下（除去作業含む）で使用しないでください。
・ アスベストは、人体に肺がんなどの重大な健康被害を発症させる物質です。

電気に関する安全事項

1. 電源コンセントは電動工具の電源プラグに合ったものを使用してください。また、電源プラグの改造をしないでください。アース（接地）付きプラグは確実にアース（接地）をしてください。
・ 改造していない電源プラグおよびそれに対応するコンセントを使用すれば、感電のリスクが低減されます。
2. 金属製のパイプや暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫の外枠などアース（接地）されているものに身体を接触させないようにしてください。
・ 感電する恐れがあります。
3. 電動工具は、雨ざらしにしたり、湿った、またはぬれた場所で使用したりしないでください。
・ 電動工具内部に水が入り、感電する恐れがあります。
4. 電源コードを乱暴に扱わないでください。
・ 電源コードを持って電動工具を運んだり、引っ張ったりしないでください。また、電源プラグを抜くために電源コードを利用しないでください。
・ 電源コードを熱、油、角のある所、動くものに近づけないでください。電源コードが損傷したり、身体に絡まって感電する恐れがあります。
5. 屋外の使用に適した延長コードを使用してください。
・ 屋外で使用する場合、キャブタイヤコード、またはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。
6. アース（接地）付きプラグやアース線がある場合、アース線をガス管に接続しないでください。
・ 発火や爆発の原因になります。
7. 電動工具を湿った場所で使用することが避けられない場合、漏電しゃ断器によって保護された電源を使用してください。
8. 使用電源は、銘板に表示してある電圧で使用してください。
・ 表示を超える電圧で使用すると、モータの回転が異常に高速となり、けがの原因になります。

⚠警告

作業者に関する安全事項

1. 油断しないで十分注意して作業を行ってください。
- 電動工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
- 疲れていたり、アルコールまたは医薬品を飲んでいる方や妊娠している方は、電動工具を使用しないでください。
- 屋外での作業の場合は、夜間の使用や悪天候などで視界の悪いときは電動工具を使用しないでください。
- 一瞬の不注意が深刻な傷害を招きます。

2. 安全保護具を使用してください。
- 作業時は、常に保護メガネを使用してください。また、粉じんの多い作業では防じんマスクを併用してください。必要に応じて、すべり防止安全靴･ヘルメット、耳栓、イヤマフなどを着用してください。

3. 不意な始動は避けてください。
- 電源プラグを電源コンセントに挿し込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。
- 電源コードをつないだ状態で、スイッチに指をかけて運ばないでください。

4. 電動工具の電源を入れる前に、調整キーやレンチなどは、必ず取りはずしてください。
- 電源を入れたときに、取り付けたキーやレンチなどが回転して負傷する恐れがあります。
- 本製品に収納場所がある場合は､決められた位置にしっかり固定してください。

5. 無理な姿勢で作業をしないでください。
- 常に足元をしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。

6. きちんとした服装で作業してください。
- だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがあるので着用しないでください。
- 髪、衣服、手袋は回転部分に近づけないでください。
- 屋外での作業の場合には、すべり止めの付いた履物の使用をおすすめします。
- 長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。

7. 集じん装置が接続できるものは接続して使用してください。
- 電動工具に集じん機などが接続できる場合は、これらの装置を確実に接続することで粉じんの人体への影響を軽減できます。

8. 電動工具を使い慣れていても、安全性に注意して作業してください。
- 不注意な行動は、重大な障害を引き起こすおそれがあります。

電動工具の使用および手入れ

1. 電動工具は能力に合った作業に使用してください。
- 安全に能率よく作業するために、電動工具の能力に合った負荷で作業してください。

2. スイッチに異常がないか点検してください。
- スイッチで始動および停止操作のできない電動工具は危険です。使用せず修理をお申し付けください。

⚠警告

3. 電動工具の誤始動を防ぐために、次の作業前はスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
- 本製品の調整
- 刃物、砥石、ビットなどの付属品の交換
- 保管、または修理
- 電動工具から離れるとき
- その他危険が予想される作業

4. 使用しない電動工具は、子供の手の届かない乾燥した鍵のかかる場所に保管してください。
- 電源コンセントから電源プラグを抜いて保管してください。

5. 可動部分の位置調整および締め付け状態、部品の破損、取り付け状態、その他運転に影響をおよぼすすべての部位に異常がないか確認してください。
- 保守点検が不十分であることが事故の原因になります。
- 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリスなどが付かないようにしてください。
- 注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
- 電源コードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。
- 延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
- 安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。

6. 先端工具は、鋭利できれいな状態を保ってください。
- 先端工具を適切に手入れすることで、円滑な作業と容易な操作ができます。

7. 取扱説明書で指定した先端工具、付属品、アタッチメントなどを使用してください。
- 取扱説明書で指定のサイズ、形状、付属品などは、本製品の性能や安全を引出すよう、最適に設計されています。

8. 電動工具、付属品、アタッチメント、先端工具類は、作業条件や実施する作業に合わせてご使用ください。
- 指定された用途以外に使用すると、事故の原因になります。

9. ハンドルおよび保持面にオイルまたはグリスを付着させず、きれいな状態で乾燥させておいてください。
- ハンドルまたは保持面が滑ると、電動工具の安全な取り扱いまたは制御を妨げるおそれがあります。

10. 極端な高温や低温の環境下では十分な性能を得られません。

11. 「取扱説明書」と「安全上のご注意」をお読みになって、電動工具とその操作を理解した方以外は使用させないでください。
- 理解せずに使用することは危険です。

12. 子供や本製品の操作を理解していない方には使用させないでください。
- けがの原因になります。

13. 必要に応じ、定格感度電流が 30 mA 以下の漏電しゃ断器を使用してください。

⚠警告

整備

1. 電動工具は、専門家による純正部品だけを用いた修理により安全性を維持することができます。

- 本製品を分解、修理、改造はしないでください。発火したり、異常動作して、けがをする恐れがあります。
- 本製品が熱くなったり、異常に気づいたときは点検・修理に出してください。
- 本製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
- 修理は、必ずお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。
- 修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの恐れがあります。
- アスベスト（石綿）周辺の環境下（除去作業含む）で使用した本製品の保守・点検・修理は受付できません。

その他の安全事項

1. 損傷した部品がないか点検してください。

- 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。異常がある場合は、使用する前に修理を行ってください。
- 破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書に従ってください。取扱説明書に記載されていない場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。スイッチが故障した場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。
- 異常・故障時には、直ちに使用を中止してください。そのまま、使用すると発煙・発火、感電、けがに至る恐れがあります。

  ＜異常・故障例＞
  - 電源コードや電源プラグが異常に熱い。
  - 電源コードに深いキズや変形がある。
  - 電源コードを動かすと、通電したりしなかったりする。
  - 焦げくさい臭いがする。
  - ビリビリと電気を感じる。
- スイッチを入れても動かないなど不具合を感じた場合は、すぐに電源プラグを抜いてお買い上げの販売店、または当社営業所に点検、修理をお申し付けください。

2. 正しい付属品やアタッチメントを使用してください。

- この取扱説明書および当社カタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因となる恐れがあるので使用しないでください。

3. 材料を加工する工具では、材料をしっかりと固定してください。

- 材料を固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。（材料を動かして加工する製品を除く。）

4. 電源プラグにぬれた手で触れないでください。

- 感電の恐れがあります。

⚠警告

5. 使用できる延長コードの太さ（導体公称断面積）と最大長さの目安

- 電源が離れていて、延長コードが必要なときは、本製品を最高の能率で支障なくご使用いただくために、十分な太さのコードをできるだけ短くお使いください。
- 延長コードは本製品のコードと同じような被ふくを施したコードを使用してください。

コードの太さ（導体公称断面積）	銘板記載の定格電流値で使用できる長さの目安		
	～5 A	5～10 A	10～15 A
2.0 mm^2	50 m	30 m	20 m

この取扱説明書は、大切に保管してください。

- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見ることができる所に必ず保管してください。
- ほかの人に貸し出す場合は、一緒に取扱説明書もお渡しください。

●騒音防止規制について

騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制がありますので、ご近所などの周囲に迷惑をかけないようにご使用ください。

自動カンナ安全上のご注意

JPB102-2

先に電動工具として共通の注意事項を述べましたが、自動カンナとして、さらに次に述べる注意事項を守ってください。

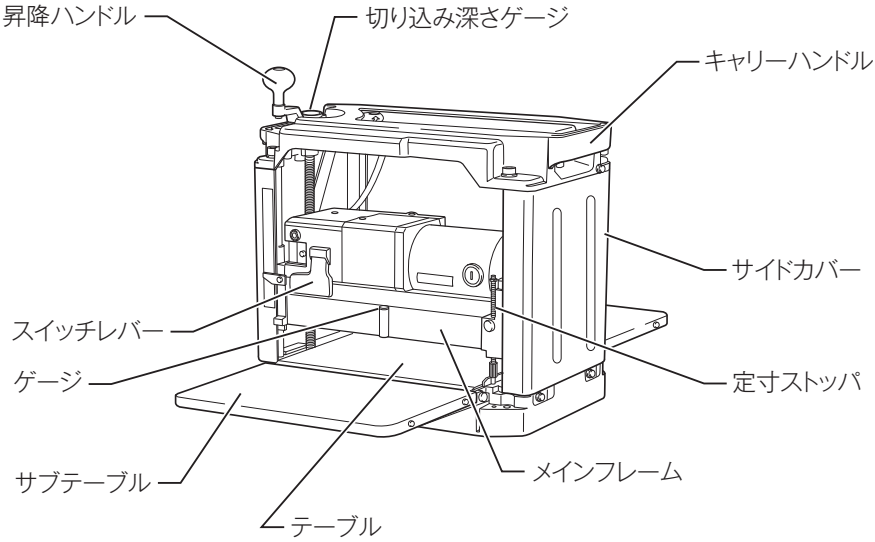
⚠ 警告

1. 使用電源は、銘板に表示してある電圧で使用してください。
・ 表示を超える電圧で使用すると、回転が異常に高速となりけがの原因になります。
2. 使用中は、切粉排出口に指などを入れないでください。
・ 回転しているカンナ刃に触れ、けがの原因になります。
3. 使用中、機体の調子が悪かったり、異常音がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い上げの販売店、または当社営業所に点検、修理を依頼してください。
・ そのまま使用していると、けがの原因になります。

⚠ 注意

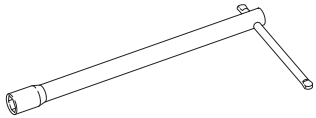
1. 傾斜のない平たんな場所にすえ付けて、安定した状態にしてください。
・ 不安定な状態だと、けがの原因になります。
2. カンナ刃や付属品は、取扱説明書に従って確実に取り付けてください。
・ 確実でないと、はずれたりし、けがの原因になります。
3. カンナ刃の取扱いには、手袋、布などで手を保護し、十分注意してください。
・ 不用意に扱うと、切り傷の原因になります。
4. カンナ刃の交換や刃高調整後は、カンナ刃取付ボルトを十分に締め付けてください。
・ ボルトがゆるむと、思わぬけがの原因になります。
5. スイッチを切った後も、惰性で回転しているカンナ刃に注意してください。
・ 手などが触れると、けがの原因になります。
6. 回転させたまま、放置しないでください。
・ けがの原因になります。
7. 使用中は、軍手など巻き込まれる恐れがある手袋を着用しないでください。
・ 回転部に巻き込まれ、けがの原因になります。
8. 材料に釘などの異物がないことを確かめてください。
・ 刃こぼれだけでなく、けがの原因になります。
9. 回転中は排出口内の切りくずを取り除かないでください。
・ カンナ刃が止まってから木の棒などでかき出すようにしてください。けがの原因になります。

各部の名称および標準付属品

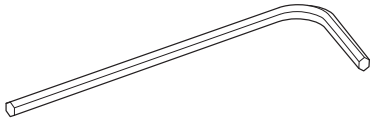


標準付属品

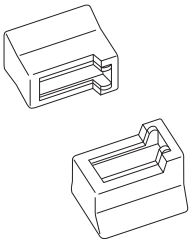
・ ボックスレンチ 9



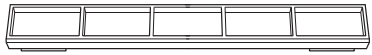
・ 六角棒レンチ 2.5



・ マグネチックホルダ
（替刃式仕様のみ）



・ ブレードゲージ
（研磨式仕様のみ）

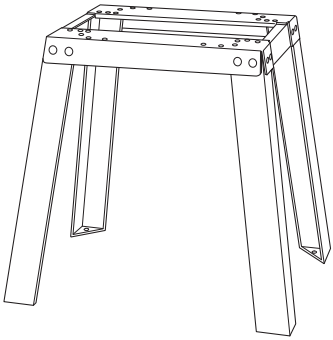


別販売品のご紹介

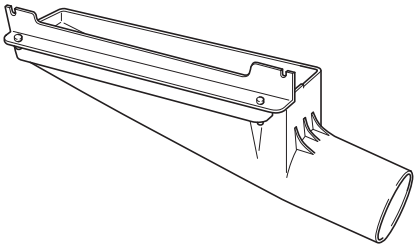
・ 替刃式カンナ刃（2 枚 1 組 / 両面使用）306mm
部品番号：A-20959

・ 研磨式カンナ刃（2 枚 1 組）306mm
部品番号：A-20965

・ スタンド
部品番号：JPA122383



・ フードセット品
部品番号：193036-7
（切りくず排出口にフードセット品と当社木工用集じん機（モデル 410）を取り付けて、お使いになりますと切りくずが飛び散らず清潔な作業ができます。）



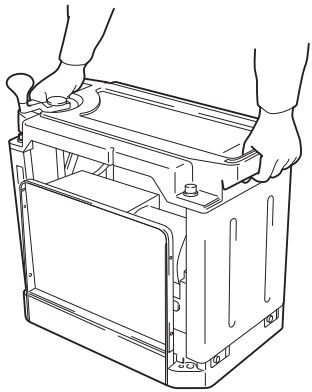
作業前の準備

運搬・移動

⚠ 注意

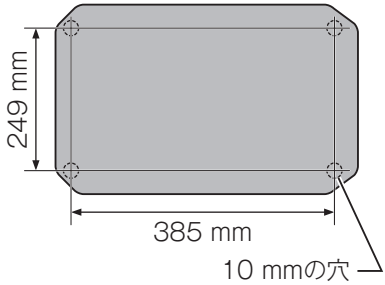
本製品の移動時は、足元に気をつけてください。
・ けがの原因になります。

・ 機械を運搬、移動するときは、サブテーブルを折りたたみ、キャリーハンドルを持って運んでください。
・ 自動車などに載せて運搬するときは、機械が動かないように十分固定してください。



機械の設置

・ 傾斜のない平坦な場所に設置してください。
より安定させるためには、テーブルの取り付け穴を利用し、ボルトなどで固定してください。



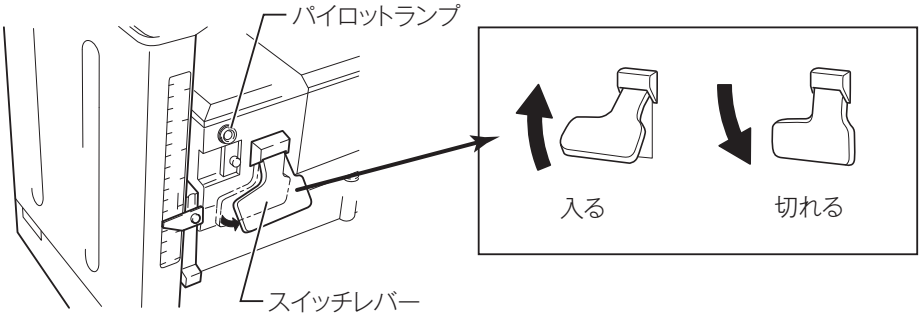
使い方

スイッチの操作

⚠ 警告

電源にプラグを差し込む前に、スイッチが切れていることを必ず確認してください。
・ スイッチを入れたままプラグを差し込むと急に動き出し事故の原因になります。

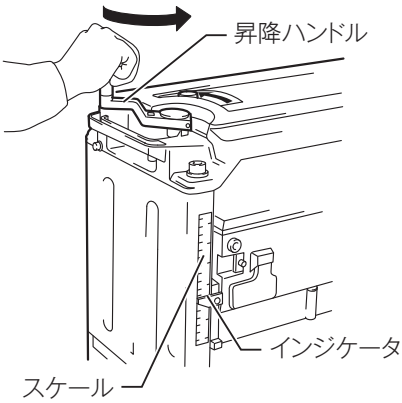
・ 電源プラグを差し込むと、パイロットランプが点灯します。
・ スイッチは、スイッチレバーを引き上げると入り、押し下げると切れます。



自動カンナ盤の使い方

寸法表示

・ 昇降ハンドルを 1 回転させるとメインフレームが 2 mm 動きます。
昇降ハンドルを左に回しながらスケール目盛にインジケータを合わせてください。目盛とインジケータが合ったところが、仕上がり寸法になります。
・ スケール目盛は右側が「寸」、左側が「cm」目盛です。

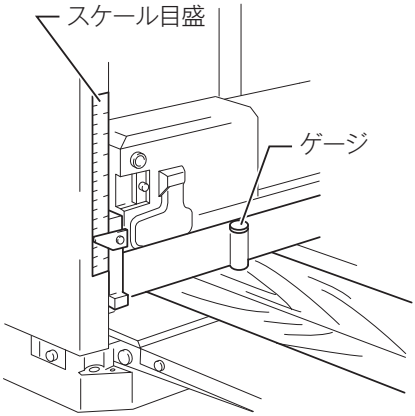


切り込み深さの調整

・ 切削幅によって最大切り込み深さが異なります。右表を参考にして切り込み深さを設定してください。
・ 削りしろが表の数値より大きいときは、2回以上に分けて作業してください。
・ ゲージの下に材料を置いて、昇降ハンドルを回して、メインフレームを下げるとゲージが動きます。
ゲージの動いた分量が切り込み深さになります。
スケール目盛に示された仕上がり寸法を見ながら、切り込み深さを調整してください。

〈最大切り込み深さ〉

切　削　幅	最大切り込み深さ
150 mm 以下	3.0 mm
150 mm ～ 240 mm	1.5 mm
240 mm ～ 304 mm	1.0 mm

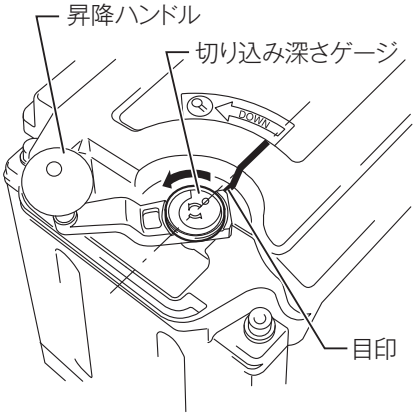


注

・ 切り込み深さや寸法合わせは、必ずメインフレームを下げる方向で行なってください。
・ 切り込み深さを設定するときは、材料をテーブル面に沿わせて載せてください。材料の前が浮いたり、後が浮いた状態では、設定した切り込み深さと実際の切り込み深さが異なります。
・ 適正な切り込み深さで切削しないと、ドラムがロックする恐れがあります。ドラムがロックしたときはすぐにスイッチを切り、材料を取り除いてください。

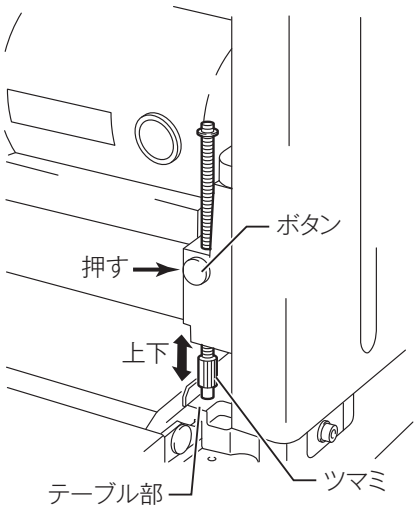
切り込み深さゲージの使い方

- 切り込み深さゲージは、切り込み深さを正確に設定するときに使用します。
- まず、現在の切り込み深さの設定で切削した材料の板厚を測り、あとどれだけ切り込みたいか確認します。
- 昇降ハンドルの上にあるゲージのみを回して、ゼロ点を目印に合わせてください。
- 昇降ハンドルを左に回し、切り込みたい量を目印に合わせてください。切り込みたい量が前ページの「最大切り込み深さ」の表の数値より大きいときは、1 回の切り込み深さを「最大切り込み深さ」以下に設定し、2 回以上に分けて作業してください。
- スイッチを入れ、材料を入れると、切り込みたい量だけ切削することができます。



定寸ストッパの使い方

・ 同じ厚さの材料を数多くつくるときに使用します。
・ 本製品正面右側にある定寸ストッパは、ボタンを押しながら上下に動かすことができます。
・ まず、昇降ハンドルを回し、仕上がり寸法にスケール目盛を合わせます。
・ 定寸ストッパのボタンを押してテーブル部まで下げて突き合わせてください。
・ 微調整は、ツマミを回して行なってください。



注

・ 定寸ストッパを使わないときは、必ず上死点一杯まであげておいてください。
・ 定寸ストッパが効いた状態で無理に昇降ハンドルを回さないでください。

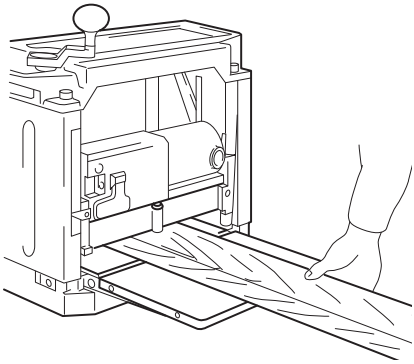
切削作業

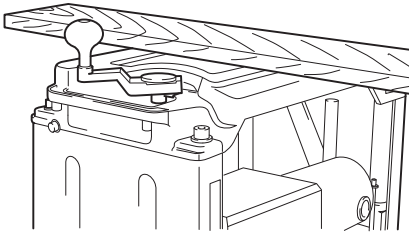
⚠ 注意

２本以上の材料を同時に切削する場合は、できるだけ離して切削してください。

・ 薄い材料がカンナ刃によってはね返されることがあり、けがの恐れがあります。

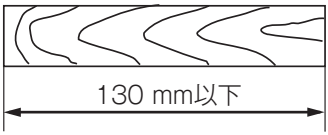
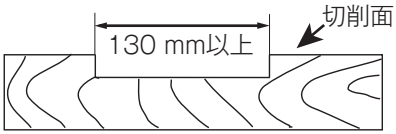
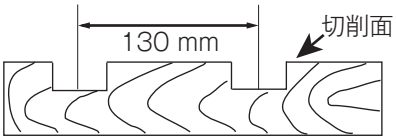
・ 材料をテーブル面に沿わせて載せ、切り込み深さを設定します。
材料がローラーに当たらない位置でスイッチを入れ、回転が安定してから、材料をテーブル面に沿わせて挿入してください。
長くて重い材料を切削するときは、削り始めと削り終りに材料の端を少し支えてください。材料の両端部の段付きが少なくなります。
・ 何回も繰り返して切削する場合は、本製品上面を利用しますと作業が楽に行なえます。





注

1. 次のような材料は、切削しないでください。
   ・ 送材できなくなります。

1		長さが 130 mm 以下のもの
2		長さが 130 mm 以上の 切欠溝のあるもの
3		130 mm 間隔のところに 切欠溝のあるもの

2. 切削中に送材がストップした場合はそのまま放置しないでください。
   ・ 送材がストップしたまま放置しますとローラの異常摩耗を引き起こします。

カンナ刃の取り付け・取りはずし

⚠警告

カンナ刃の取り付け、取りはずしの際には、必ずスイッチを切り、プラグを電源から抜いてください。
・ 電源をつないだまま行うと事故の原因になります。

⚠注意

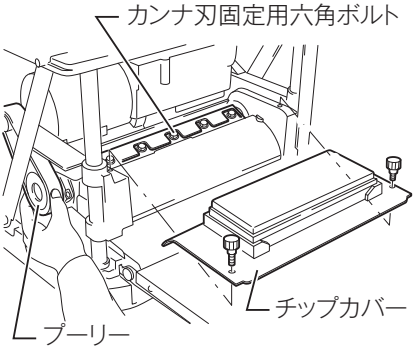
カンナ刃の取り扱いには、手袋、布などで手を保護し、十分注意してください。
・ 不用意に扱うと、切り傷の原因となります。

注

- カンナ刃の取り付け面は、きれいに掃除してください。
- カンナ刃は、重さの揃ったものを取り付けてください。重さの異なるものを使用すると振動が大きくなり、機械の寿命が低下します。
- 替刃式カンナ刃は両刃式です。切れ味が悪くなったときは、反対側をご使用ください。
- 替刃式カンナ刃の反対側を使用されるときは、刃に付着したヤニや汚れをきれいに取り除いてから取り付けてください。
- 替刃式カンナ刃は使い捨てのカンナ刃です。再研磨できません。

カンナ刃の取りはずし方

- チップカバー固定用のツマミネジを緩めて、チップカバーをとりはずしてください。
- 本製品右側のサイドカバー取り付け用のネジをはずし、サイドカバーをとりはずし、プーリーを回してください。
- カンナ刃固定用の六角ボルトが上になる位置でストッパが働いて、カンナ胴が固定されます。



(1) 替刃式カンナ刃の場合

1. 2個のマグネチックホルダを、図のようにセットプレートの上に載せてください。

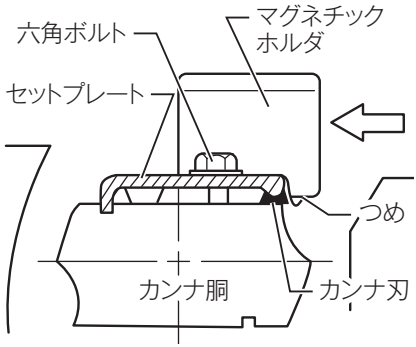
2. マグネチックホルダのつめが、カンナ刃に当たるまで矢印の方向へ押してください。

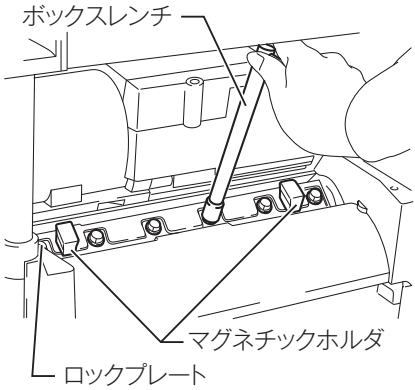
3. カンナ刃固定用の六角ボルト6本をはずしてください。

4. マグネチックホルダを持って真上に持ち上げ、セットプレートとカンナ刃をカンナ胴からはずしてください。

5. ロックプレートを押し、プーリーを180°回してカンナ胴を固定してください。

6. 反対側のカンナ刃も同様に取りはずしてください。





(2) 研磨式カンナ刃の場合

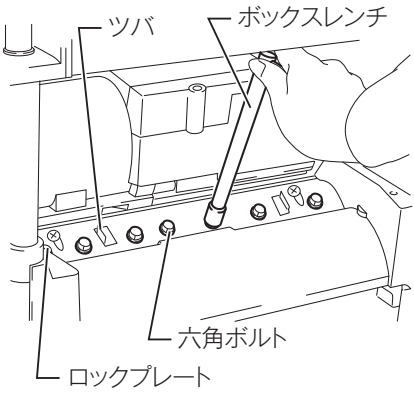
1. カンナ刃固定用の六角ボルト６本を取りはずしてください。

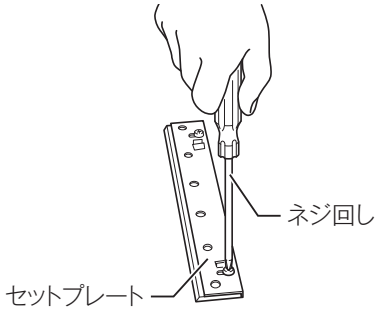
2. セットプレートのツバを持ち、真上に持ち上げてカンナ胴から取りはずしてください。

3. ロックプレートを押し、プーリー180°回してカンナ胴を固定してください。

4. 反対側のカンナ刃も同様に取りはずしてください。

5. 取りはずしたカンナ刃のセットプレートを、ネジ回しで取りはずしてください。





カンナ刃の取り付け方と調整

⚠ 注意

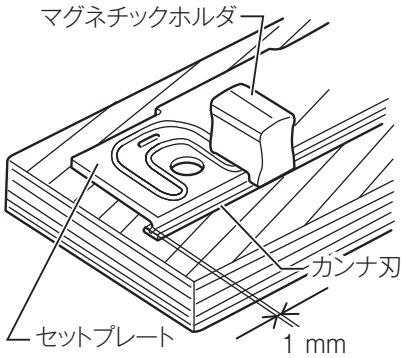
カンナ刃締め付けボルトは付属のボックスレンチ 9 以外では締め付けないでください。

・ 締め過ぎや、締め付け不足となりけがの原因になります。

(1) 替刃式カンナ刃の場合

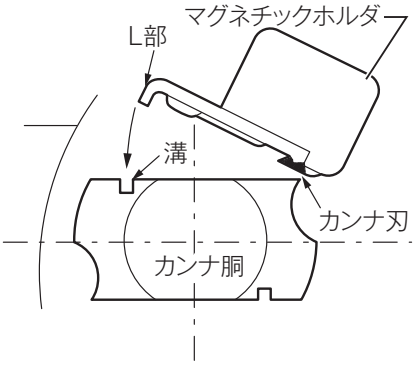
1. 長さ 300 mm、幅 100 mm 程度の平な木の板の上にカンナ刃を置き、カンナ刃の溝にセットプレートの凸部をはめてください。

2. カンナ刃がセットプレートの両端から 1 mm ほど出るようにセットプレートの位置を調整してください。

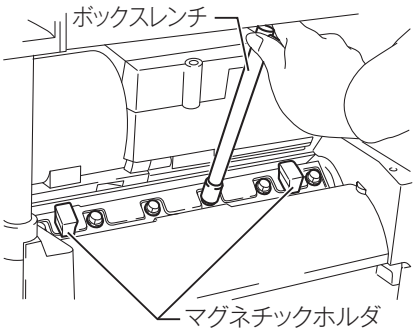


3. マグネチックホルダを、図のようにセットプレートに取り付けてください。

4. カンナ胴の溝にセットプレートのL部を入れ、セットプレートのボルト穴とカンナ胴のネジ穴を合わせて六角ボルトを取り付けてください。



5. カンナ刃固定用の六角ボルトをしっかり締め付けて、マグネチックホルダを取りはずしてください。ボルトの締め付けに際しては、一度に強く締め付けず、中央部から外側へ交互に、また徐々に締付力を強くして締め付けしてください。



6. 反対側のカンナ刃も同様に取り付け、ロックプレートを押しながらカンナ胴をゆっくり回し、異常がないか確認してください。
7. 異常がなければチップカバーおよびサイドカバーを取り付けてください。

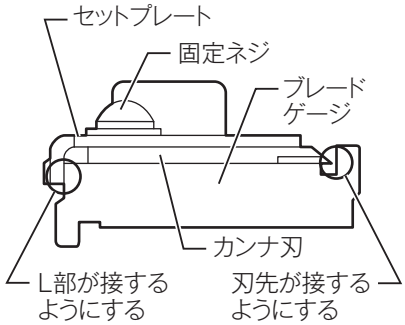
注

- **セットプレートは、カンナ刃の溝に正しく入れて締め付けてください。**
- **チップカバーをはずした状態では、スイッチを入れないでください。**

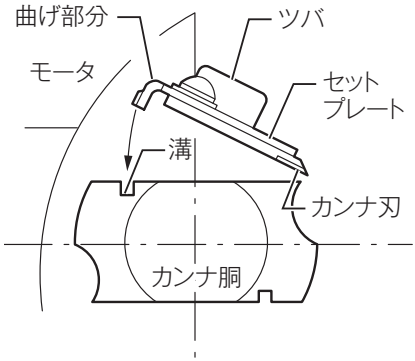
(2) 研磨式カンナ刃の場合

1. カンナ刃を付属のブレードゲージの上に置き、セットプレートを固定ネジでカンナ刃に取り付けてください。

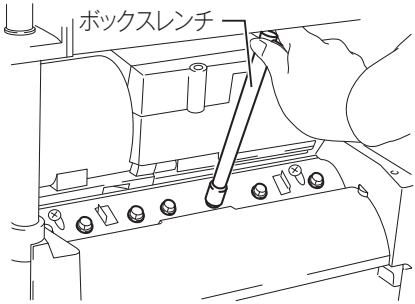
2. カンナの刃先およびセットプレートのＬ部をブレードゲージに当てて、固定ネジを締め付けてください。



3. セットプレートのツバを持ち、セットプレートのＬ部をカンナ胴の溝に入れ、六角ボルトを取り付けてください。



4. カンナ刃固定用の六角ボルトをしっかり締め付けてください。
ボルトの締め付けに際しては、一度に強く締め付けず、中央部から外側へ交互に、また徐々に締付力を強くして締め付けしてください。



5. 反対側のカンナ刃も同様に取り付け、ロックプレートを押しながらカンナ胴をゆっくり回し、異常がないか確認してください。
6. 異常がなければチップカバーおよびサイドカバーを取り付けてください。

注

・ チップカバーを開いた状態では、スイッチを入れないでください。

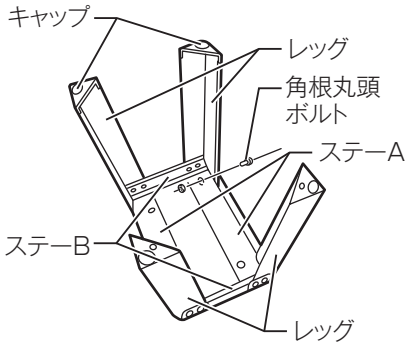
カンナ刃の仕様変更について

・ 本製品は下記の部品を交換することによって、替刃式カンナ刃仕様を研磨式カンナ刃仕様に、また研磨式カンナ刃仕様を替刃式カンナ刃仕様に変更できます。
カンナ刃の仕様を変更される場合は下記の部品をお買い求めください。

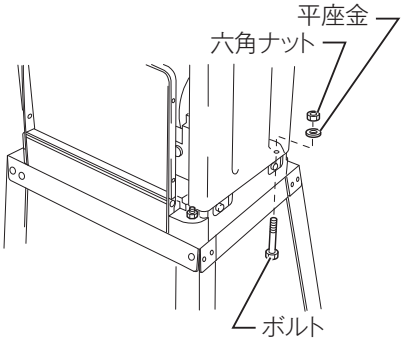
仕様変更に必要な部品
- 替刃式仕様に変更
  - セットプレート 2
  - 替刃式カンナ刃（306 mm）.....2
  - マグネチックホルダ.....2
- 研磨式仕様に変更
  - セットプレート 2
  - ⊕ナベ小ネジ M4 × 6 4
  - 研磨式カンナ刃（306 mm）.....2
  - ブレードゲージ 1

スタンド

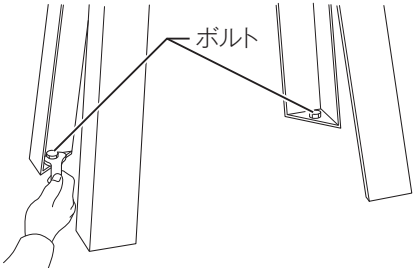
・ ステーを図のように並べて置きレッグを逆さに立てて置いてください。角根丸頭ボルトバネ座金、六角ナットで確実に締めつけてください。
レッグの裏にゴムのキャップをはめてください。



・ 組み立てたスタンドの上に機械を乗せ、４本の六角ボルト、平座金、六角ナットで固定してください。
六角ボルトはスタンド裏側より挿入し、平座金、六角ナットで固定してください。

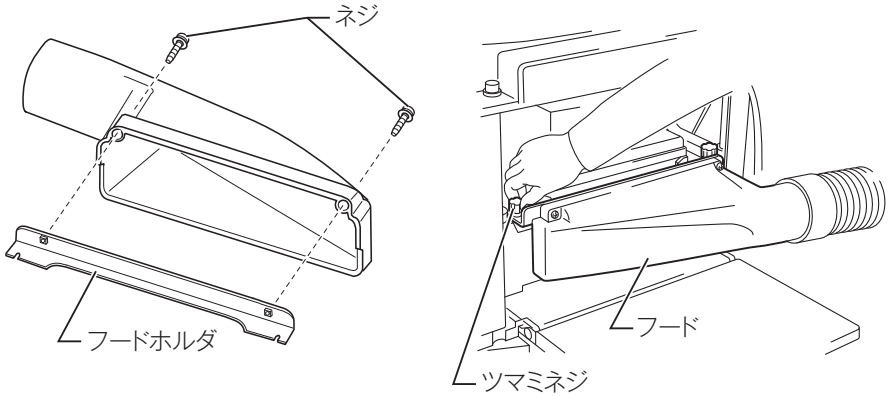


・ レッグの穴を利用してスタンドを４本のボルトで固定して使用してください。



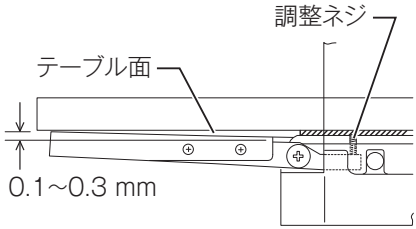
フードセット品

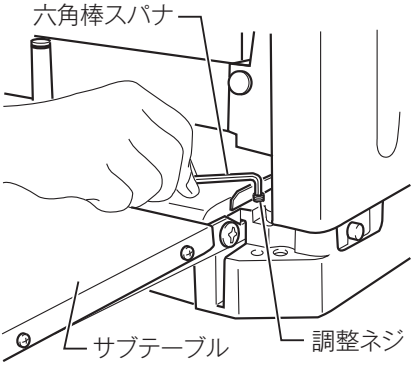
・ フードとフードホルダをネジで固定してください。
・ チップカバー取り付け用ツマミネジを緩め、フードとチップカバーを共締めして固定してください。



サブテーブルの高さ調整

・ サブテーブルの高さは、出荷時に調整してありますが、サブテーブルがさがりましたら、テーブル面より 0.1 mm ～ 0.3 mm（ハガキ 1 枚）高くなるように調整し直してください。
・ 六角棒スパナで調整ネジを回して、サブテーブルの高さを調整してください。
・ テーブル面にハガキを置き、ハガキの上に定規をのせてください。
サブテーブル先端がスケールに接するように調整してください。





カンナ刃はいつも良い切れ味に

・ 切れ味の悪くなったカンナ刃を使用されますと、仕上げ面がきたなくなるばかりでなく、モータに無理をかけ、能率も悪くなりますから、早目に研磨する（研磨式カンナ刃の場合）か、新品と交換してください。
・ 極端に切れ味の悪くなったカンナ刃を無理して使いますと切削時の反力が大きくなり危険です。

注

・ 研磨後､2 枚のカンナ刃の重さが異なるとカンナ胴のバランスが悪くなり、機械の振動が大きくなることがあります。また、カンナ刃を交換するときは 1 枚だけでなく、2 枚同時に交換してください。

保守・点検について

⚠ 警告

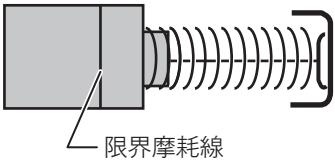
点検･整備の際には必ずスイッチを切り、プラグを電源から抜いてください。
・ 電源をつないだまま行うと、事故の原因になります。

注

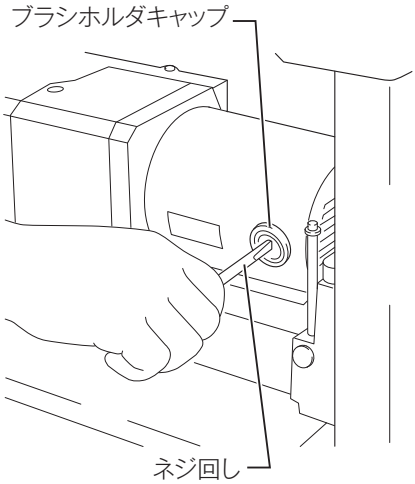
・ **機械の摺動部・回転部は、さびないように使用した後には油を塗ってください。**

カーボンブラシの交換

・ カーボンブラシは、時々取りはずして点検してください。
カーボンブラシが限界摩耗線まで摩耗したら新品と取り替えてください。このとき、カーボンブラシがブラシホルダ内で前後にスムーズに動くか確認してください。
新品と交換する際は、必ず当社指定のカーボンブラシをご使用ください。



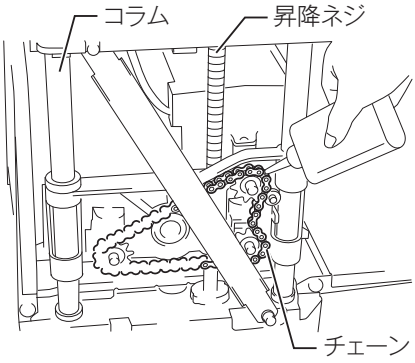
・ ネジ回しでブラシホルダキャップを取りはずしてください。
・ 中から摩耗したカーボンブラシを取り出し、新品と取り替えて、ブラシホルダキャップを組み付けてください。
カーボンブラシは２コで１組になっております。取り替える場合は、必ず左右とも同時に行なってください。



保守・点検について

注油について

・ チェーン、コラム、昇降ネジ部には、時々機械油を注油してください。
チェーンの注油に際しては、サイドカバーＲをはずしてください。



その他

・ 送材ローラの表面、モータ風窓、ドラムのカンナ刃取り付け面、ネジ部などには、切りくず、ゴミなどの付着がないように常に清掃してください。

ご修理の際は

・ 修理はご自分でなさらないで、必ずお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。

株式会社マキタ
愛知県安城市住吉町 3-11-8 〒446-8502
TEL.0566-98-1711（代表）

881937D8
IWT